

件名：小松公民館だよりの白黒印刷について

(平成24年4月24日受付)

公民館だよりの写真が、白黒で誰が写っているのかわからない。カラーにすべきだ。また、地元の記事が少なく、内容が偏っている。

(回答)

このたびは貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。

さて、ご意見を賜りました公民館だよりのカラー印刷については、公民館に設置している印刷機がカラー印刷に対応できないことや、地域の全世帯へ配布することとしているために、相当の印刷枚数を要することなどから、現在は白黒印刷で発行させていただいております。

また、掲載内容については、公民館事業や地域情報を中心として、全市的な生涯学習情報なども掲載しておりますが、できる限り地域の皆様に興味を示していただける内容の充実に努めて参ります。

なお、この4月からは、更なる情報発信の充実を図るために、市ホームページの各公民館ページに公民館だよりをカラーで掲載しておりますので、是非、ご利用いただきたいと思います。

今後とも、新鮮で親しみやすい公民館だよりの制作に努めて参りますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

(担当：社会教育課)

件名：市報に小松町の情報が少ない件について

(平成24年4月24日受付)

小松町が発行していた広報「こまつ」に比べ、現在の西条市報は、小松町の情報が少ない。地域づくりに住民が興味を持つよう、小松総合支所で、住民の代表も編集者に入れて、こまつ広報を復活させるべきだ。

(回答)

このたびは、ご意見をいただき、ありがとうございました。

広報紙につきましては、合併により誕生した西条市における市民の皆さんの融和や一体感の醸成を図り、さらに相互理解を促進するために市域全体の情報を集約する形で、毎月発行しております。

こうした中におきましても、各総合支所が独自にテーマを決め、総合支所の職員が取材し、原稿を作成している「支所だより」のページや、身近な地域の情報を紹介している「まちのわだい(カメラスポット)」のコーナーを設け、市内各地の話題を紹介しております。

さらに「情報最前線」のコーナーで、市内全域での行事やイベントなどを

ご案内しております。

今後におきましても、引き続き多くの地域情報を皆さんにお伝えしていきたいと考えておりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

(担当：総務課)

件名：市民総合体育大会ソフトボールのエントリーについて

(平成 24 年 4 月 26 日受付)

昨年のソフトボール一般男子Aの部で、ルール等が書かれていた冊子の掲載とは違い、会社関係のチームが出場していたり、地区で2チーム出場していた。従来どおり、各地区代表1チームの出場とするよう徹底してもらいたい。

(回答)

西条市民総合体育大会のソフトボール競技につきまして、参加者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

ご指摘のありました内容につきまして、大会の管理運営をしております西条市ソフトボール協会に確認したところ、同一地区からの複数チームの出場や同一地区外の人員を含むチームの編成など、大会要項で認められていないチームの登録が行われておりました。

西条市ソフトボール協会とは、ご意見を頂きました内容を含む大会運営について協議を行い、大会要項に沿った大会の運営を行うように確認をいたしましたので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

(担当：スポーツ健康課)

件名：西条市ひうち球場使用予定表について

(平成 24 年 5 月 2 日受付)

ひうち球場の使用予定表の明示をお願いしたい。

(回答)

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

ご指摘のありました内容につきまして、早速、5月使用予定分から掲載し以降毎月掲示するよう対応させていただきます。

今後も引き続き、円滑な体育施設の運営にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(担当：スポーツ健康課)

件名：蒸気機関車の展示及び運行について

(平成 24 年 7 月 3 日受付)

鷹丸の公園にある蒸気機関車を鉄道文化館に移動し展示できないか。

J R 四国の中では、蒸気機関車の運行がなされていないと思う。なんとか、この蒸気機関車を整備し、時々でも走らせられないか。J R 四国や各自治体への経済効果もあると思われる。費用については、寄付を募ることなども考えてはどうか。

(回答)

このたびは西条市のまちづくりに関しまして貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

さて、大町地区の市民公園に保存展示しております C 5 7 型蒸気機関車は、本市名誉市民である十河信二先生（第 4 代国鉄総裁）の雅号にちなんで、「春雷号」という名前が付けられています。

現在、市では J R 伊予西条駅南広場の整備に着手しております。ついては、この駅南広場に新たな車両展示館を建設する予定であり既存の鉄道記念館、また駅構内の給水塔などの鉄道遺産を利用したこのエリアを「鉄道歴史パーク inSAIJO」として整備を行いたいと考えております。ご意見のあった C 5 7 型蒸気機関車は、今回の整備に併せて、この駅南広場への移設を考えて行きたいと思っております。

また、蒸気機関車の運行に関しましては、現 J R 四国からの永久貸与であり、昭和 5 1 年の展示以来、動態保存でなかったため内部機関や外装のメンテナンスを実施しておらず、また実際の走行には蒸気機関車特有の給水、給炭などの設備や火床整備、運転技術を習得した人材の確保等々から、走行は困難と考えております。

今後は、C 5 7 型蒸気機関車を観光資源として、そして産業遺産として有効に活用して参りたいと考えております。今後とも市のまちづくりについて、貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございます。

(担当：観光振興課・都市計画整備課)

件名：農業特区について

(平成 24 年 7 月 6 日受付)

農業特区の話しを聞いた。平地での企業とのタイアップによる大規模化、機械化農業は必要であると考えますが、日本の農業は農薬を使用する農法である。

平地では大規模化して効率の良い農法を行い、他方山間部では良水を活かして、自然農のできる空間として利用していくべきだと考える。福島原発事故

以来、放射能に対する切実さが増しているので、西条の山地の荒廃園を生命が未来に伝わる空間として活用すべきだと思う。子どもの将来が心配な福島の人たちが、西条で安心して農的生活ができるよう、空家・空き地情報の収集等もお願いしたい。

(回答)

貴重なご意見・ご提案をいただきましてありがとうございます。ご承知のとおり、現在、当市では日本経済団体連合会から、未来都市モデルプロジェクト「西条農業革新都市」の実証地域の選定を受けたことを機に、企業・地域農業者・行政が協同で生産から加工・流通までの機能を集約した総合6次産業都市の実現を目指しております。

また、昨年度には、国から「西条農業革新都市総合特区」として区域指定を受け、今年度も引き続き規制緩和や財政支援等について国からの支援等を受けやすい状況にあり、地域農業の活性化に関する事業を有利に進めていくことが可能となっております。

このように、当市では地域農業の活性化について、総合的な観点から施策の展開を図ろうとしており、平地では大規模化・機械化による効率化を図り、山間部ではその特性を生かした農業を推進することも必要であると考えております。

このような中、平成24年度より国による「人と農地の問題に関する施策」が集中実施されることとなり、当市においても各地域単位において2カ年計画で「人と農地のマスタープラン」（以下、「マスタープラン」という）策定に取り組んでおります。

このマスタープラン策定に当たっては、地域の農業者に対し、農業者自身の現状や今後5年10年後の方向性について、アンケート調査を行うとともに、各農業者へのヒアリングにより、農地、住居、農業用機械の賃借等について、各農業者から情報を収集しているところであります。

当市では、こうした情報を整理し、当市において新たに農業を始めたいという方に対して、農地や空き家情報の提供を検討してまいります。

ご提案いただいております福島県をはじめとする被災された皆様方の当市の新たな担い手としての参入につきましては、当市の農業発展にも寄与することから、こうした情報の活用についても前向きに検討していきたいと考えております。

また、耕作放棄地対策については、市としても国に先駆け積極的に取り組んでおり、地域の景観を守り、農地を有効的に活用していく観点からも、地域内外の農業者等にも協力いただき、再生・活用に向けて支援していきたいと考えております。

(回答：農業革新都市推進室・農業水産課)